

武相エコノミスト

第7号

2017.1.1

BUSO ECONOMIST

seventh issue



2017新春
エコノミスト
鼎談

町田商工会議所 会頭

相模原商工会議所 会頭

深澤 勝 杉岡 芳樹



町田・相模原経済同友会 代表幹事
株式会社オーディオテクニカ 代表取締役社長

松下 和雄

企業と人

株式会社 三ノ輪建設 代表取締役 萩原 謙氏

武相エコノミスト

題字 小山克己 株式会社三和 代表取締役社長



表紙の人

左から

町田商工会議所 深澤勝会頭
町田・相模原経済同友会 松下和雄代表幹事
相模原商工会議所 杉岡芳樹会頭。
相模原市中央区の敦煌酒郎で
行われた鼎談時のショット。

撮影 松田康司

contents

11

10

8-9

7

4-6

例会報告 2016.7~12

Area Topics
株式会社三ノ輪建設 代表取締役 神奈川相模原
なでしこリーグ1部に昇格
美しいサッカーで日本一を目指す

企業と人
深澤 勝 × 杉岡 芳樹 × 松下 和雄
地域に根差した総合建設会社に。

私の行きつけの店
La Saison Nishiyama × ファシリティパートナーズ株式会社
伊藤 永利氏

町田商工会議所 会頭
深澤 勝 × 杉岡 芳樹 × 松下 和雄
相模原商工会議所 会頭

町田・相模原経済同友会 代表幹事
伊藤 永利氏

武相の未来を考える。
まちの魅力を高めるためには—。

2017新春エコノミスト鼎談

町田・相模原経済同友会は2006年7月、「誰もが住みよい町田市」を目指し東京町田経済同友会として設立されました。その後、2008年4月に町田・相模原経済同友会となり、町田市と相模原市、すなわち武相の発展を目指す団体へと進化を遂げ、その実現に向け歩み続けております。町田・相模原経済同友会の会員は、この地域において活動している企業57社の経営者です。個々の企業経営者の「貢献する心」をベースに、業界や団体の枠を超えたネットワーク、時代の遷り変りを見る確かな目、そして問題を直視するアリズムなど、そのリソースが最大の特色です。グローバルな視野で地域経済を捉える。つまり“think globally, act locally”な視点で調査・研究し、議論し、広く社会に影響を与えるべく行政への提言や講演会などの諸活動を行っております。また調査・研究や講演会など通じ、会員相互の交流は勿論のこと、経営力の向上にも寄与しております。

会員の確固たる意志を礎に、確かな新しい時代を築くため、これまででも、そしてこれからも町田・相模原経済同友会は歩み続けます。

朝日リビング(株)
(株)アドバンスインターナショナル
(株)イーグル建創
いすゞ自動車首都圏(株) 相模原支店
(株)井上穰建築デザイン研究所
(株)ウイツツコムニティ
(株)ヴィレッジ
SMBC日興証券(株) 町田支店
(株)オーディオテクニカ
大野重電土木(株)
(株)折本設備
(株)カイセ工業
(株)家具の大正堂
(株)角松屋
(株)ギオン
(株)キャロットシステムズ
草薙一郎法律事務所
(株)ケーユーホールディングス
相模原土地開発(株)

(株)三和
(株)JTBコーポレートセールス(法營) 相模原支店
昭和リース(株) 八王子支店
シー・エイチ・シー・システム(株)
西武信用金庫 町田支店
千寿産業(株)
(株)創建
ソニー生命保険(株)
東京中央LPC第4支社
損害保険ジャパン日本興亜(株)
大和興産(株)
医直源会 相模原南病院
東京ガスライフバル相模原(株)
(学)東京町田学園町田デザイン専門学校
(株)トーエル
トブレック(株)
(株)日本アクセス
野村証券(株) 町田支店
萩生田税務会計事務所

株八朗平
ファシリティパートナーズ(株)
(株)フィルツ都市建築設計
富士エクスプレス(株)
ブリヂストン・タイヤ・ジャパン(株)
生産財カンパニー首都圏
(株)ブレシア
北辰企業(株)
細野コンクリート(株)
(株)ホンマ電機
(株)松田設備
(株)三ノ輪建設
睦特殊金属工業(株)
山口自動車(株)
(有)マサハ・神奈川県議会議員
(株)横浜銀行 相模原駅前支店
横浜日野自動車(株) 相模原支店
利惠産業(株)

THINK
GLOBALLY,
ACT
LOCALLY

武相の未来を考える。 まちの魅力を高めるためには—。

町田商工会議所 会頭

相模原商工会議所 会頭

町田・相模原経済同友会 代表幹事

深澤 勝 × **杉岡 芳樹** × **松下 和雄**

生活圏も一体で、深く関わりあってきた町田市と相模原市。

来るべき人口減少社会に向けて両市が描く、未来にむけた「まちづくり」を
武相を代表するトップエコノミストがそれぞれの立場で、現状や課題を深く切り取った。

深澤 勝

町田商工会議所 会頭

5000社の会員を有する

町田商工会議所の第5代会頭。

7年半の副会頭を経て、2013年11月より会頭。

過去には町田青年会議所の理事長も務めた。

株式会社創建 代表取締役社長。



観光やスポーツで魅力を創出したい



2027の「まちびらき」が新しいスタート

杉岡 芳樹

相模原商工会議所 会頭

相模原商工会議所の第4代会頭。

2004年の常議員、商業部会副部会長を経て

2013年に会頭に就任。

過去には相模原青年会議所の理事長も務めた。

相模ガス株式会社 代表取締役。

の相模原補給廠の一部17haが返還され、コンベンションや大型商業施設等の計画が進んでおり、企業も誘致し、雇用も増やすという有望な将来が待っています。更に、2027年に向けて小田急多摩線の延伸が見込まれていますが、これはまだ調整中です。

商業については市外流出という弱いところがあります。市内に人を呼び込む施設がほしいと市長も言っていますが、商工会議所としても、まちの活性化に協力しながら、政令指定都市としての将来を描いている最中です。

松下 相模原の場合、交通インフラが整って、物流或いはサービス産業がどんどん発展していく可能性が非常に高く、未来が明るいわけですけれども、同時に住んでいる方々も手近なところにいい仕事があれば、都心まで通わなくて済む近場でいい仕事ができる。或いは、主婦の方も近所で沢山仕事ができるということでお子さんの養育とかそういう面でもとても恵まれていると思います。

ますます発展して、町田からもどんどん仕事で相模原に行く人が出てくるのではないか。私たちの会社は町田にあって、相模原から通勤していく方が多いのですが、実はその反対も増えているのではないかと思いました。

今、人口減少という問題が起きて、地方百貨店が次々と店閉まいしていますが、やはり買い物は週末の一番の楽しみであります。消費そのものが減っているわけではないので、その変化をいかに捉えて事業をするかが大事になっています。

小さいお店、近所のお店が見えるのと同時に、新しい形の商業施設が発展していますよね。この前、台湾に行ったときに新しいアウトレットを見てきたのですが、販売する場所、お客様が買う場所が確実に

変化している印象を受けました。

杉岡 人口減少社会つて平成31年ぐらいからという話だったんですが、町田ではいかがですか？

深澤 そうですね、2020年頃から減るであろうと言われています。今どうかといふと、南部エリアは人口が減りつつあり、それを補っているのが多摩境を中心とする北部エリアですね。

杉岡 人口減少社会に対してもう一つの問題。特に地方都市は人口が減つて、東京とか名古屋のようなまちはむしろ少しずつ増えていく状況ですが、今までのGDPを中心どんどん発展するという考え方よりも、もう少し豊かな生活ができる、或いは心のゆとりができる、そんな観点で考えることも大切だと思うんです。例えば、外国の方が沢山観光に来れるのも消費の一つですが、これは文化を目に当たりして、その中で美術館やお城や神社に行きますが、心、文化、そういうもの非常に大事にしていくようになりますよね。相模原も町田も、そこにもう少し力を入れていかなければ、と思っています。

松下 人口問題というのは日本全国の問題で、一つの都市がどうすることもできな

司会 本日は町田と相模原の商工会議所会頭に、市の現状やまちづくりの未来などについてお話し頂ければ、と思います。

深澤 町田は相模原と比べると、ハード部分では大化けする要素もないでソフトの部分で住みやすいまちを目指して、こうと頑張っています。商工会議所でも中心市街地活性化協議会を立ち上げ、若手がこのまちをどうデザインしていくべきのか、議論を重ねています。また、「町田は人がいっぱい居ていいね」とよく言われますが毎年11月に行っている通行量調査でも結果が出ていて、人が徐々に減っていると市街地を感じています。

モノレールの町田駅乗り入れによって大きく変化する要素は持っていますが、まだ具体化されていません。

松下 町田には各所に立派な公園や設備が毎年11月に行っている通行量調査でも結果が出ていて、人が徐々に減っていると肌で感じています。

モノレールの町田駅乗り入れによって大きくなっています。また、「町田は人がいっぱい居ていいね」とよく言われますが毎年11月に行っている通行量調査でも結果が出ていて、人が徐々に減っていると肌で感じています。

相模原は平成の大合併で平成22年4月に全国19番目の政令指定都市になりました。市民の平均年齢は42.6歳、政令都市では非常に若く、工業都市として発展してきた一方で、都心や横浜のベッドタウンという部分もあり、ハード面ですと圈央道が開通し、2つのインターチェンジがあります。その周辺には物流或いは工業を含めた産業用地を確保し、企業が進出しやすい環境をつくっています。2027年開通のリニア中央新幹線では橋本に新駅ができる予定です。また、相模原駅北口側

個性的な価値が魅力になる

松下 和雄
町田・相模原経済同友会 代表幹事
株式会社オーディオテクニカ 代表取締役社長。
日本ビクターを経て1974年入社、1993年より現職。
日本を代表する音響機器メーカー。
特にマイクロフォンはオリンピックやグラミー賞など国際的な舞台で使われている。

お母さんたちは仕事が出来る、そんな住みやすさ、働きやすさという環境があります。医療費補助も手厚いですし、商業施設も含めそういうインフラや施設の存在も魅力だと発信すれば、改めて人を呼び込めると考えています。

司会 ほかに具体的に取り組まれたり目指してるものってありますか？

たちでも知らない方が沢山いらっしゃると思います。それをいかにうまくアピールしていくかということ、商業施設が綺麗で立派なもの大事かもしれないが、むしろ昔ながらの横丁みたいな、そういう所がもう少しあつたらと感じています。全部立派になって、横丁や路地やちっちゃなお店がなくなつてしまつて。効率はいいかもしませんが、歩く楽しみが減つてしまいますよね。

がなくなつてしまつて。効率はいいかもしませんが、歩く楽しみが減つてしまいますよね。

て、大学も沢山ありますから、進出してくるチエーン店も多く家賃も高くなるなんだと思いますね。昔の町田市役所跡地なんかにそういう屋台村みたいなもの、どんどつくつたらどうなんでしょうね。

深澤 インバウンド関係で今、行政と駅周辺のWi-Fi設置を進めています。消費動向は全国で消費量が落ち着き出していますが、6月時点で大型店からの聞き取り調査ですと、町田と都心部で売上に歴然とした差があり、町田で売れているのは子ども服と化粧品と医薬品。ホテルはかなり稼働率が上がっているようです。が、殆どが通過型の宿泊客で、皆さんラーメン屋さんのようななところでご飯を食べるようです。

また、町田は観光に力を入れています。名所・旧跡の観光ではなく、どちらかといふと着地型の観光です。外国からの方も大好きですが、国内からの方を大事にしています。観光客は住んでいる人より6倍消費をするそうですから、小野路や白洲次郎の武相荘、薬師池など、そういうものを売り込むシティセールスをやらせていただいている回るのですが、大変面白いです。海外のみならず町田市民も含めて東京の人

松下 一時的にではなくて日常化しないと駄目ですよね。

深澤 それは都市型観光だと思うんですけど駄目ですね。

食べ物屋さんも全国チエーンのお店はどこへ行つても同じですが、あそこに行くとあれがあるよという、個性的なお店が欲しいです。昔、成瀬に屋台村のようなものがきてすぐ駄目になりましたけど、そういうファジーな訊の分からぬような楽しみが欲しいですね。起業する方には大きなチエーン店の一角という位置付けじゃない店を是非やってもらいたいなっていう気がしますね。

深澤 そうですね、町田の中心市街地で他市の方が来て一番喜ぶのは、仲見世通りですね。吉祥寺のハモ二カ横丁みたいな。

杉岡 相模原でも全般的に昔ながらの横丁のような雰囲気が薄まつてきている状況です。それは商業地の中で仕掛ける人が少ないのも事実で、若い人たちが自分たちのまちをどうにかしようということがもっと出来ていくといふと思います。家賃の問題もあってチャレンジするのが厳しいことも理解できますが。

松下 あれだけの人口と乗り換え客が多い

て、一体になって進めています。

杉岡 相模原はグリーンブルーという国際規格のブルーがあるんですよ。サッカーは男子はまだJ3ですが、女子サッカーで今度ノジマステラが1部に昇格して盛り上がっています。

司会 住みやすさということ、あとコンテンツいろいろですが観光というワードで大きくくくられるんでしょうか。今後、3者で何かできたりしたら面白いですね。

松下 そうですね。貴重な見解をいただきました。これがヒントになって地域の発展に結び付けば一番嬉しいですね。

深澤 町田と相模原は都道府県を跨いでいますが、経済圏では一体ですので、市民は住民票を町田市役所でも、相模原市役所でも取れる親近感があります。都市間競争はすつと統きますが、例えば施設の相互利用にしても我々民間で話し合いかがら、相互で良くなる機会が増えていけばいいなと思っています。

杉岡 相模原市は喫緊の課題として、小田急多摩線の延伸問題、唐木田から町田を抜けて相模原駅、上溝駅、将来的には愛川町を通つて小田急線にまた結線する。そんな計画がある中で2027年、相模原駅北口開発のまちづくりを「まちびらき」と言っていますが、それが完成するときに小田急もそこに延伸されることを前提としていて、それについては町田市の協力が本当に必要です。是非ご協力いただけたら、と思っています。

私の行きつけの店

My Favorite Place

Vol.4

季節を映した割烹フレンチは シェフの美学が活きる渾身の一皿

La Saison Nishiyama × ファシリティ パートナーズ(株) 伊藤 永利

伊藤社長が2016年に出会ったレストランの中でも、特にお気に入りの「ラ・セゾンニシヤマ」。ここは8月にオープンしたばかりの新店だが、地元の食通たちを唸らせ、既に週末は予約が取れなくなることもある。JR町田駅から歩いて10分ほど、駅の喧騒から少し離れた静かな場所に立地し、席数は僅か10席。オーナーの西山英司氏が一人一人に丁寧な料理を振る舞いたいという想いで立ち上げた注目の店だ。

つきみ野にある横浜うかい亭の料理長を務めるなど、都内の有名店だけでなく本場フランスでも腕を磨いた西山氏が標榜するのは、フレンチ割烹という町田にはなかつた新しいジャンル。

「お箸で召しあがつていただく割烹スタイルは、日本料理とフランス料理を融合させた新たな試み。そんな料理を、自分で調理するライブ感と共に楽しんでいただきたくて。」——そう想いを語る彼が振る舞うのは、基本的に1日1コースのみ。前菜から旬の魚、最高の肉料理、そしてデザートまでを楽しめる8品のコースだ。

伊藤社長が2016年に出会ったレストランの中でも、特にお気に入りの「ラ・セゾンニシヤマ」。ここは8月にオープンしたばかりの新店だが、地元の食通たちを唸らせ、既に週末は予約が取れなくなることもある。JR町田駅から歩いて10分ほど、駅の喧騒から少し離れた静かな場所に立地し、席数は僅か10席。オーナーの西山英司氏が一人一人に丁寧な料理を振る舞いたいという想いで立ち上げた注目の店だ。

句ごとに異なる素材の美味しさを知り尽くした西山氏がセレクトした食材は、基本的に全て産地から取り寄せる。萩の甘鯛、青森の平目、天草の鰻など、永年の経験から心底美味しいと思えるものだけを使う。素材の味を最大限に引き出す火の入れ方、そしてそれぞれの食材に一番合う塩にまでこだわるという。シンプルで奥深い、日本人のきめ細やかな感性が注ぎ込まれた極上フレンチなのだ。

カウンターにひとたび座れば、出来立ての一皿が程よいタイミングでサーブされ、店主との会話を楽しみながら最高のひと時を過ごすことができる。ドリンクは料理を引き立てるフランスワインや日本酒などのラインナップが用意されている。

一皿ごとに感動が溢れ出す極上の料理は、大切な人との食事や記念日などに使いたい、そんな特別なレストランとして多くの人に愛され、歴史を刻んでいくに違いない。



上)驚くほど柔らかい牛肉のグリエはランプの熟成肉を使用。
下)食事は外食が殆どだという伊藤社長。



株式会社三ノ輪建設
代表取締役

萩原 謙氏

地域に根差した 総合建設会社に。



戦後の荒廃がまだ色濃く残る時代に「村の鍛冶屋」としてスタートした三ノ輪鉄工所。創業から60年が過ぎ、今では総合建設会社「三ノ輪建設」として、時代を切り拓く事業展開で業績を着実に伸ばしている。社長は十

数年前にヘッドハンティングされた不動産部門の責任者・萩原謙氏。社長就任以来、的確な判断力とリーダーシップでそれまでの枠に捉われない新しい三ノ輪建設を社員と共に創り上げている。



上)三ノ輪利平氏が始めた三ノ輪鉄工所は戦後の町づくりや人々の生活を支え、大きく成長した。
下)町田市優秀工事賞を受賞した「子どもセンターまあち」

PROLOGUE

戦後間もない昭和21年、三ノ輪建設の前身である三ノ輪鉄工所は創業した。製缶・旋盤加工を主業に大きくなり、昭和29年に法人格となる。昭和38年には新たに相模原市に工場を設立し、重量鉄骨加工などの本格的な鋼構造物工事業に着手するようになった。高度成長期には一級建築士事務所登録を行い、各種建築請負業を始めるなど、商都町田の繁栄と共に総合建設会社として成長した。三ノ輪建設という社名になったのは昭和59年。そして平成5年、本社ビルが町田市中町に完成し、昨年には創業60周年を迎えている。

大学では建築を専攻していたが卒業後、新宿の大手不動産会社に入社。町田が担当エリアとなり、三ノ輪建設と出会った。三ノ輪建設にはミノワホームという不動産の系列会社がある。不動産に関する手腕

「弊社の会社規模では、日本経済に左右されやすい建築だけでの生きしていくことは危険だと考えていました。バブルやリーマン・ショック後に無くなつた会社は沢山ありますから。」不動産で多くの実績を残してきた萩原氏は、時代に沿つた戦略を立てながら着実に成長路線を描いてきた。それまで建築1本だった軸足を不動産へも移しながら事業の幅を広げてきた。建築だけに捉われず、不動産と絡めた受注を増やし、優良な賃貸資産を積極的に取得するなどミノワホームとも上手く連携し、建築以外でも収益を挙げる部分を作ってきた。「この3年間でそういった融合できる部分も増え、かなり会社は変わったと思います。

三ノ輪社長の見習うべきは改善する。身の丈にあつた会社の成長を目指しています。」

を振り返る。
業績も順調で、活躍の場所を基盤である町田市内から今まで以上に外部へ広げても良いくらいの感覚を持つているというが、1年1年が勝負の業界だと誰よりも熟知している。だからこそ、決して楽観視することはない。

「時代の流れに逆らわず、地元町田にしつかり根差し、総合建設会社として町田で常にナンバー1と誰からも言っていたただける会社にしたいと思っています。」

社長就任の翌年には60周年を無事迎え、昨年はエントランスから事務スペースまで社屋のリニューアルも行つた。社員が気持ちよく仕事が出来るように、職場環境への気配りも忘れない。節目の年を越え、会社は新しい時代の中で着実に未来に向かって歩んでいる。

PROSPECTS

社員の高齢化が課題だという萩原氏。若い社員の採用が難しくなっている現状も建設を目指す若者の減少という時代の流れと捉えているが、決して悲観的ではない。今後も公共工事、民間工事、どちらにも偏ることなく、バランスよく受注していく。

COMPANY PROFILE 株式会社三ノ輪建設

設立: 1946年4月1日
資本金: 30,000,000円
従業員数: 26名
事業内容: 総合建設業
売上高: 3,951,964,062円
(グループ合計)
本社: 東京都町田市中町1-17-3
<http://www.minowa-co.jp/>

MONTHLY

例会 報告

MEETING

第80回 例会 2016 7/21 (木) ホテル ラポール千寿閣

会員スピーチ (株)ホンマ電機・(株)三ノ輪建設

本間氏は『電力小売り自由化よりもやま話』と題し、原発を含む海外の現状や今後の展望等を、三ノ輪建設の萩原氏は業界の概要に触れながら『施工事例における建築工事単価の推移』について話されました。



第81回 例会 2016 9/8 (木) ホテル ラポール千寿閣

人口2/3激減時代の到来と 「新」成長戦略

人口減少時代に、町田と相模原が活力を維持し、成長していくためにはどう向き合うべきか。都市力の数値を軸に経済状況と様々な課題にも鋭く切り込んだ野村證券(株)金融公共公益法人部・和田理都子氏の講演。



第82回 例会 2016 10/20 (木) ホテル ラポール千寿閣

特別講演 「共生社会」実現への道

日本障がい者スポーツ協会常務理事で日本パラリンピック委員会副委員長の高橋氏の講演に200名超が来場。エリートスポーツであるパラリンピックの現状や課題、そして4年後の成功に向け熱弁を振られました。



第83回 例会 2016 11/10 (木) ホテル ラポール千寿閣

変えることが難しいことを変える

それまでのW杯では1勝21敗2分。そんな弱小チームが南アフリカを破る歴史的快挙を成し遂げるまでの軌跡を、日本代表GMの岩渕健輔氏が熱く語りました。南アフリカに逆転したあの瞬間の裏話も。



第84回 例会 2016 12/22 (木) ホテル ラポール千寿閣

忘年例会 ～クリスマス交流親睦会～

社員や家族も交えて楽しんだ恒例の年納め忘年例会。マジシャンKAIによるマジックや、会員たちもステージで一緒に踊ったフラダンス、豪華賞品に一喜一憂した抽選会など、終始盛り上がった3時間でした。



武相エコバリスト

第7号

2017年1月1日発行

発行 町田・相模原経済同友会

〒194-0022 東京都町田市森野1-25-17 ワールドウイング内2F
TEL/FAX: 042-726-3577

制作 株式会社VisionDesign

町田・相模原経済同友会入会のお申込み・お問合せは
TEL 042-726-3577
<http://www.ms-doyukai.jp/>

※本紙掲載の写真、記事、ロゴの無断転載、および複写を禁じます



優勝と昇格が決まり、喜ぶノジマの選手たち。カップを掲げているのは尾山沙希キャプテン(10月8日 相模原ギオンスタジアム)
<http://stellakanagawa.nodjima.co.jp/>

なでしこリーグ2部のノジマステラ神奈川相模原が、悲願のリーグ初優勝を果たし、1部昇格を決めた。チームは創設5年目、2013年は3位で入替戦を逃し、2014年は入替戦進出するも2戦2分けでアウエイゴール差に泣いた。悔しい想いを胸に、3年越しで掴んだ嬉しい勝利だった。

ノジマステラは家電量販店のノジマが2012年に設立した女子サッカーチーム。ノジマは相模原がホームのアメリカンフットボールチーム「相模原ライズ」のネーミングライツや横浜DeNAベイスターズのスポンサーなど、CSR活動に実際に積極的な企業としても知られている。大儀見優季や川澄奈穂美、大野忍など日本を代表する選手を多く輩出する神奈川県で初のなでしこ1部チームに、とクラブハウスもグラウンドも一から作った。

2人の外国人プロ選手を除き、選手は社員として午前中は本社や店頭で仕事を行い、午後から練習に励む。苦しい予算で運営するチームが多い中、数少ない実業団チームだ。選手も半数近くが年代別の日本代表にも選ばれ、名実ともに日本一を目指す体制で戦ってきた。

2016シーズンは元1部チームのちふれASエルフエン埼玉と1位を争った。第9節まで無失点、最終的に無敗でシーズンを終え得失点差は41という驚異的な数字を記録した。

チームが目指すのはパスを繋いでゴールを決める美しいサッカー。女性が生き生きと輝くようなー。そう語るのは代表の山内氏だ。寮生活で衣食住を共にするところが強い絆を築き、ピッチで絶大な信頼感となる反面、仲が良すぎることが課題でもあるという。適度な緊張感や距離感があるこそ、チームはもっと成長すると分析する。「1部昇格のご褒美に、グアムでキャンプを行おうんです。目標は勿論、優勝ですが、もつと地元の皆さんにスタジアムに足を運んで欲しいと思っています。」

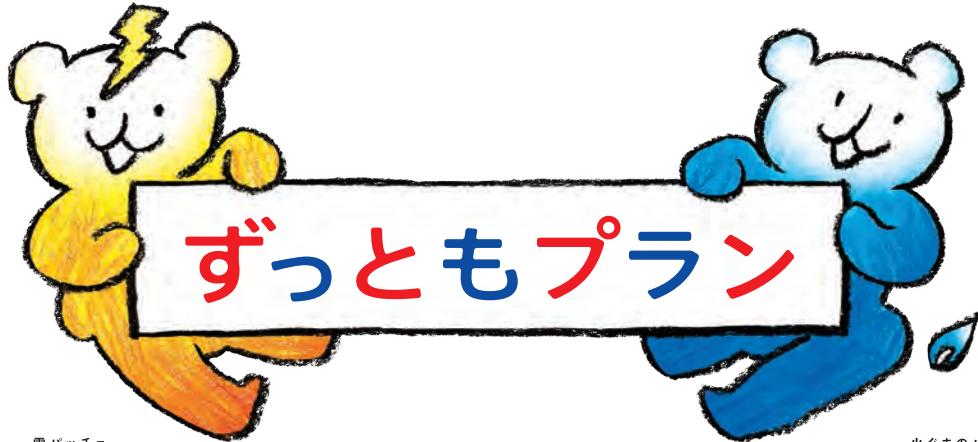


2017シーズンからは待望の1部で戦うノジマステラ。目指す優勝は「5年後」を見据えている。世界No.1の座に輝いた日本女子サッカーの一番高い場所に輝く「ステラ(星)」を目指して、新たな戦いが始まっている。

山内氏だ。寮生活で衣食住を共にするところが強い絆を築き、ピッチで絶大な信頼感となる反面、仲が良すぎることが課題でもあるという。適度な緊張感や距離感があるこそ、チームはもっと成長すると分析する。「1部昇格のご褒美に、グアムでキャンプを行おうんです。目標は勿論、優勝ですが、もつと地元の皆さんにスタジアムに足を運んで欲しいと思っています。」

飲食店・商店・事務所などで低圧の電気をお使いのお客さまへ

電気料金の見直しを してみませんか？



電バッチョ

火ぐまのバッチョ

東京ガスは、飲食店・商店・事務所などで低圧の電気をお使いのお客さまへ
電気をお届けしています。お得な電気料金メニュー やセット割で
電気代や通信費が削減できます。^{※1}

ご契約は簡単、解約も無料なので、安心してお選びいただけます。

※1 「ガス・電気セット割」の適用には条件がございますので、詳しくは担当者までお問い合わせください。

東京ガスの電気に関して詳しくは

東京ガス 電気

検索 |



ご試算^{※2}は、こちらの東京ガスライフバルまで気軽にご連絡ください

※2 料金プランによっては試算ができない場合がございます。

TOKYO GAS LIFEバル 東京ガスライフバル澤井株式会社

東京ガスライフバル町田 まちだ店

TEL:042-722-5347

東京都町田市中町2-15-14

受付時間
9:00~19:00(月~土)
9:00~17:00(日・祝)

営業時間 月曜日~土曜日 / 9:00~17:30 日曜日~祝日 / 9:00~17:00

